



子ども向け視力検査

すべてのライオンズクラブは自律的な団体です。つまり、各ライオンズクラブはそれぞれ独立した団体として、地域の法規制に従い独自に行事を実施する責任があります。このプランナーは、推奨を提示することを目的としており、法的な勧告やベストプラクティスとしてみなされるべきではありません。このプランナーで示す活動は、地域社会によっては不適切である場合もあります。法規制や安全基準、ベストプラクティスのすべてに確実に準拠するよう、地域の専門家に相談してください。



子ども向け視力検査

この事業プランナーは、1日～1週間にわたる子ども向け視力検査を企画するクラブを支援するためのものです。このような検査を通して、眼科医療の専門家による総合的なフォローアップケアや治療が必要となる問題を抱えている可能性のある人物を特定します。

このような事業を実施することで、目の不自由な人々の生活の質を向上するというライオンズクラブの戦略ビジョンを後押しすることになります。

早速、イベントの企画を開始してください。

下記空欄に記入して、イベントの詳細を決定しましょう。

目標 » 子ども向けを対象に視力検査を提供し、視力に問題を抱える子どもを特定しましょう。	実施期間 1日	実施場所 <input type="radio"/> 屋外スペース（例：地域の公園） <input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 教育機関 <input type="radio"/> 非公式（例：宗教的） <input type="radio"/> 移動式視力検査ユニット <input type="radio"/> その他
	企画所要時間 2～4カ月	
	開始／終了日 _____	

参加対象者 行事への参加対象者を選択します。		
対象者： <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年 <input type="checkbox"/> 大人 <input type="checkbox"/> 上記すべて	主催者： <input type="checkbox"/> 研修を受けた視力検査員 <input type="checkbox"/> 地域の眼科クリニックスタッフ <input type="checkbox"/> 地域の眼科病院スタッフ <input type="checkbox"/> 地域の眼科医療の専門家 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー <input type="checkbox"/> その他のボランティア _____	留意事項： 失明予防をサポートするコミュニティを形成するために、学校の保健師、学校従業員との連絡係、宗教団体の事務員または代表者にも参加を呼びかけてください。

事業に必要なすべてのタスクを特定します。

事業には下記の3つのタスクを必ず取り入れます。

1. 検査方法を決定し専門の検査員を特定します。

- » 視力検査の方法や機材は地域の自治体または政府の規制に準拠する必要があります。
- » 認定を受けた有効な学校検査プログラムがある場合は、それに従います。

検査方法／機材：

a. _____ c. _____
 b. _____ d. _____

専門の検査員：

a. _____ c. _____
 b. _____ d. _____

2. 教材を選びます。

- » 子どもたちと保護者の両方を対象とした教材を含めます。
- » 教材は、医療従事者、地域の眼科クリニックまたは眼科病院によって提供されたものを使用します。

資料：

a. _____ c. _____
 b. _____ d. _____

3. 紹介ネットワークを決定します。

- » 検査結果に関して質問がある場合は、参加者を紹介する医療サービスを予め特定しておく必要があります。
- » フォローアップサービスを提供できる眼科医療の専門家や機関を特定し、専門サービス料金の支払い方法を決定してください。

紹介サービス：

a. _____ c. _____
 b. _____ d. _____



イベントでのボランティアの役割を割り当てます。

担当／役割	氏名	連絡先	留意事項
事業リーダー			ライオン／レオまたは眼科医療の専門家がよいでしょう。子ども／青少年向け視力検査に関する基本的な知識を持ち、イベント実行計画やボランティアを管理できる必要があります
眼科医療の専門家			推奨されるパートナーの例として、地域の眼科医療提供者、視覚障がい専門家、地域の眼科クリニックまたは眼科病院が挙げられます。
ボランティア管理者			クラス参加者とクラブ会員権について対話でき、子どもや青少年との活動に関してボランティアを研修できるボランティアを特定してください
マーケティングリーダー			
イベント撮影者			宣伝目的でイベント写真の使用を計画する場合、参加者から署名入りの公開承諾書を受取る必要があります。
地域の救急医療サービス			救急医療が必要となる事態に備え、常に同行する必要があります。
地域のパートナー/ 協力者 推奨：地域の眼科医療の専門家、地域の眼科病院、視覚障がい者（全盲および弱視）の支援に従事する団体			

Q ヒント

▶ すべてのボランティアが、イベント活動に関与し、参加者にとって参加しやすく安全な環境づくりを支援します。

活動の内容に合わせて子供と大人の人数配分が適切になるようにします。

ライオンズの人数	
レオの人数	
その他の人数	

推奨されるボランティアの配分*：

- » 0-4 歳児：子供4名に対してボランティア1名
- » 4-8 歳児：子供6名に対してボランティア1名
- » 9-12 歳児：子供8名に対してボランティア1名
- » 12-18 歳児：子供10名に対してボランティア1名

*多くの地域政府では、保育職員一人に配分される児童の数を法律で制限しています。いかなる活動においても地域の規制に準拠するように注意してください。



事業を実現可能なステップに整理します。

改善事業リーダーと公共イベントリーダーは、この用紙に記入して進捗を追跡できます。

ステータス	タスク	期限	タスクリーダー	ヒント
×	クラブに情報を伝える			クラブでイベントの情報伝達会議を開く
	イベント名／タイトルを作成する			
	企画委員会の結成			委員会で奉仕対象者を特定し、講師や資料を確保し、イベントのすべての実行計画を策定します。
	潜在的なイベント協力者を特定する			<ul style="list-style-type: none"> » 地元の眼科医療の専門家 » 地域の眼科病院 » 視覚障がい者の支援に従事する団体
	予算案を作成する			
	資金調達 (必要に応じて)			
	開催地、開催日時の決定			<ul style="list-style-type: none"> » イベントの少なくとも1ヶ月前には確保してください。 » 寄付の対象地域として地方集落を検討してください。 » 多数の児童受給者、ボランティアの視力検査員、機材を収容できるスペースを選ぶようにしてください。
	適切な保険に加入する			<p>保険または補完保険の証書の要否については、監督官庁にご確認ください。</p> <p>すべてのライオンズクラブに提供される一般賠償責任保険のポリシーの適用範囲に関する質問は、http://lionsclubs.org/pib-en にアクセスして、プログラム保険冊子を確認してください。</p>
	必要なボランティアと医療の専門家を確保する			
	宣伝／マーケティング計画を策定する			チラシ、デジタル版の資料などを用意するとよいでしょう。
	イベント実行計画を確定する			<ul style="list-style-type: none"> » イベントの開催前に、必ずサービス提供者やイベントの協力者に連絡をとり、イベントでそれぞれの役割を果たす用意ができていないか確認する » 機材の配置が適切であるか確認する
	イベント実施後に改善点を話し合う慰労会を企画する			検証質問を活用して話し合います。

事業の予算を決定します。

イベントの予算決定にはこのワークシートを利用できます。

説明	数量	費用	経費 合計	現物提供/ 寄付	収入	残高
教育						
教材						
危機と物資						
検査機材						
施設レンタル						
フォローアップケア						
専門サービス料金						
マーケティング						
その他						
専門サービス料金						
水／軽食						

事業の成果を評価します。

イベント企画委員会を再召集し、成功を祝い事業報告を行います。

成果の評価			
事業評価			
18歳未満の奉仕者人数		非会員のボランティア参加人数	
18歳以上の奉仕者人数		奉仕総時間数	
ボランティアに参加したライオンの人数		事業の企画/資金調達に要した総時間数	
ボランティアに参加したレオの人数			
事業の検証			
1. 視力に問題を抱える可能性のある地域の子どもや青少年に対して視力に関する教育と検査サービスを提供できましたか？			
2. 視力に問題を抱える子どもや青少年が、フォローアップケアや眼科医療の専門家への治療を受けられるように手配できましたか？			
3. 最大の成果は何ですか？			
4. 最も難しかったことは何ですか？			
5. このイベントを再び実施しますか？			
6. どこを改善しますか？			



子どもに見られる潜在的な目の問題の兆候

子どもたちは、自分が見ている状態が普通だと思いがちなので、視力に問題を抱えていてもそれを訴えてこない可能性があります。

お子さんの目はどうですか？

- » 両目が不揃い：1つの目が寄っているまたは離れているように見える
- » まぶたが赤い、目やにが多い、腫れている
- » 涙目または充血（炎症）している

お子さんの行動はどうですか？

- » よく目をこする
- » 片目を閉じたり覆ったりする
- » 首をかしげたり、激しくうなずいたりする
- » 読書や細かい作業が苦手、またはものを観察する際に目の近くまで持っていく
- » 通常以上にまばたきしたり、細かい作業をする際に不機嫌になったりする
- » ものが霞んで見える、または見づらい
- » 目を細めたり、眉をしかめたりする

お子さんはなんと言っていますか？

- » 「目がかゆい」、「目がジンジンする」、「目がゴロゴロする」、「よく見えない」
- » 細かい作業をした後に「めまいがする」、「頭が痛い」、「気持ち悪い／吐き気がする」
- » 「みんな霞んでみえる」または「二重になって見える」
- » 問題を訴えたり、異常な兆候を見せたりすることがない場合でも、子どもは目に問題を抱えている可能性があることを留意してください。

出典：preventblindness.org